

令和6年度に実施した主な事業と決算額

「竜王町コンパクトシティ化構想」の推進

「交流・文教ゾーン」整備の推進

9億6081万円

交流・文教ゾーンの造成および道路工事を行うとともに、公園の基本設計を実施しました。



竜王小学校移転新築整備の推進

5億1962万円

竜王小学校移転新築整備に伴う建築確認等申請を行うとともに、新小学校の建設工事に着手しました。



「活力あふれるまちづくり」の推進

ふるさと納税対策の強化

7億6079万円

返礼品の開発や魅力発信について中間事業者へ委託し、新たな返礼品開発などにより寄附金の増加につなりました(昨年度比+10億2645万円)。



農業振興ビジョンに基づく、持続可能な竜王農業の推進

1603万円

持続的な農業の基盤整備に向けた効果予測等調査を実施しました。また、地域計画推進員の雇用などを行い、人と農業の将来を考える「地域計画」を策定しました。

2025滋賀国民スポーツ大会の開催に向けた着実な準備

7077万円

町内から県代表となるアスリート育成を目的とした取り組みを行うとともに、競技施設などの整備に着手しました。



「安心して暮らせるまちづくり」の推進

地域共生社会の実現に向けた総合相談支援体制の推進

8398万円

孤立、貧困、疾患などの各世帯の抱える複合的な困りごとに対し、関係機関、地域住民が連携して受け止め、伴走・解決できるための包括的な総合相談や地域づくりを推進しました。



こども家庭支援施策の充実と連携強化

1359万円

こども計画の策定に当たりこども未来会議を開催するとともに、こどもの意見聴取の場としてこどもまんなか会議を実施しました。また、妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう伴走型相談支援などを行いました。



「みんなで進めるまちづくり」の推進

竜王町DX推進計画に基づく取り組みの推進

1億6274万円

デジタル機器、システムなどの整備・運用や、来庁者の利便性向上に向け、窓口においてキャッシュレス決済に対応したセミセルフレジを導入しました。



住民対応窓口のワンストップ化に向けた庁舎の改修

2億4423万円

住民サービスの拠点として、総合庁舎1階の改修により住民対応窓口のワンストップ化を行うとともに、総合庁舎東側トイレなどの改修工事を行いました。



「新時代へのチャレンジ」の推進

バイオマス産業都市構想に基づくバイオマス資源の地域内循環の実現

560万円

「バイオガス化プロジェクト」については、バイオ堆肥・液肥施用による作物の栽培実証や先進地視察を実施、「熱利用プロジェクト」については、エネルギー作物の栽培実証やバイオスボイラーを導入しました。



決算

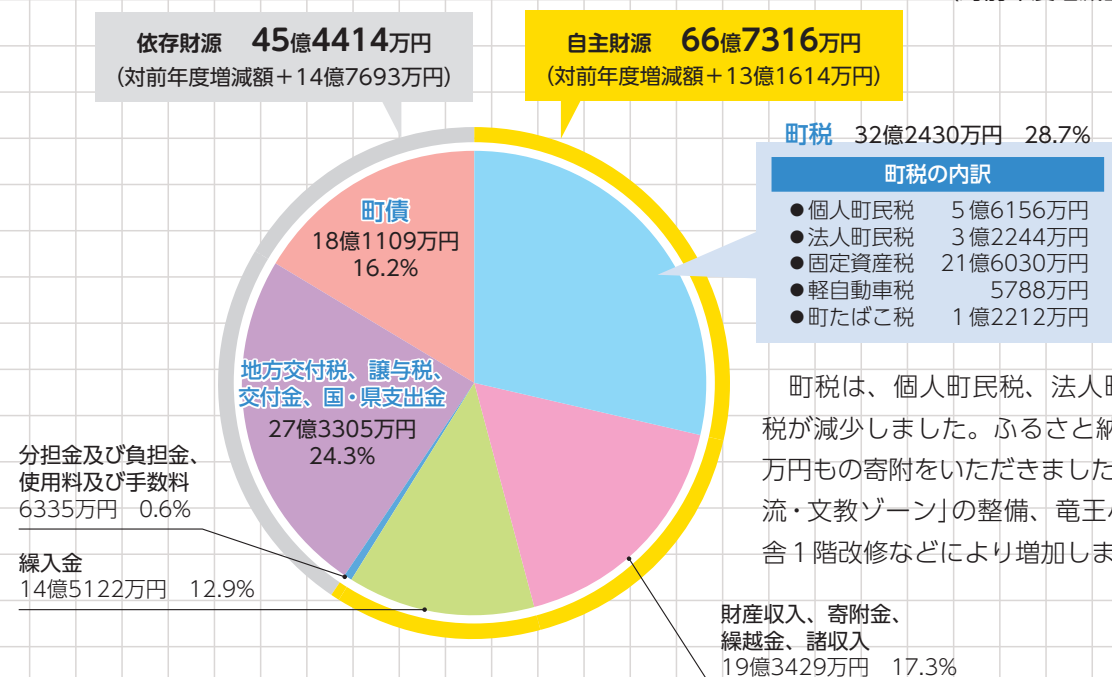
令和6年度

私たちが納めた税金などが、暮らしや町づくりの中でどのように生かされたかをまとめました。

総務課 行財政係 ☎58-3700

一般会計 歳入 **112億1730万円**

(対前年度増減額+27億9307万円)



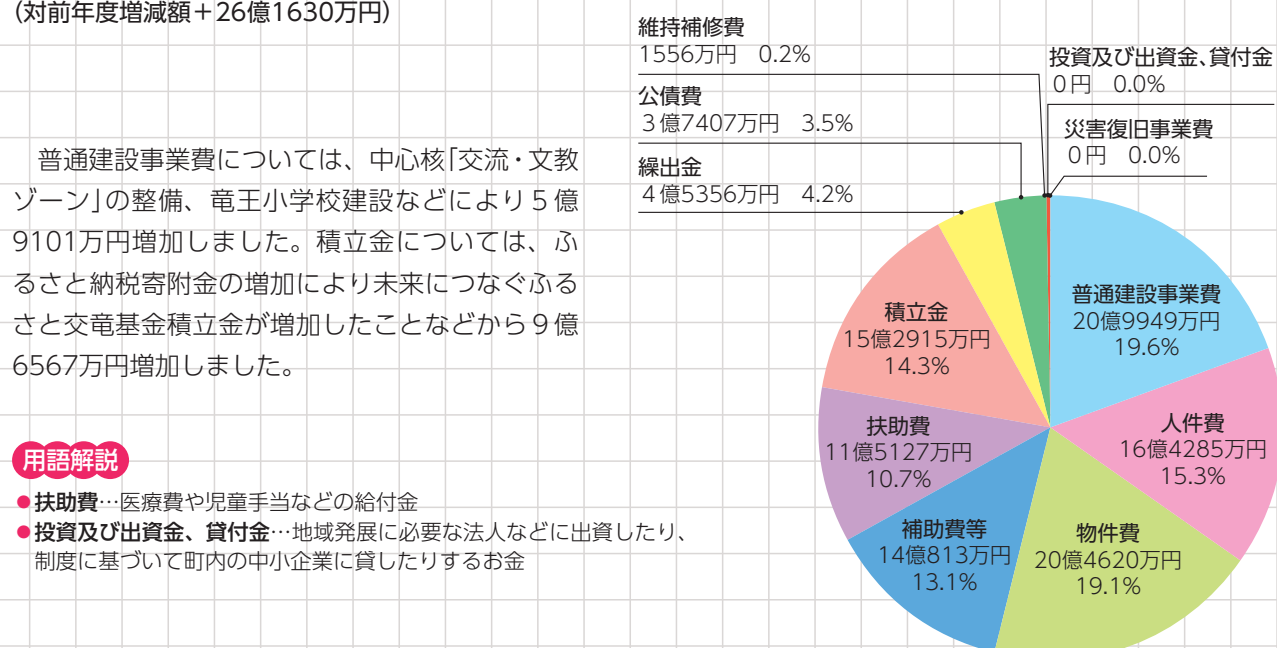
町税は、個人町民税、法人町民税及び町たばこ税が減少しました。ふるさと納税は、約15億600万円もの寄附をいただきました。町債は、中心核「交流・文教ゾーン」の整備、竜王小学校建設、総合庁舎1階改修などにより増加しました。

用語解説

- 地方交付税、譲与税、交付金、国・県支出金…行政サービスを実施する上で不足する分を国や県が補うお金
- 町債…建設事業を行う際などの政府系資金や銀行などからの借入金

一般会計 歳出 (性質別) **107億2028万円**

(対前年度増減額+26億1630万円)



用語解説

- 扶助費…医療費や児童手当などの給付金
- 投資及び出資金、貸付金…地域発展に必要な法人などに貸付したり、制度に基づいて町内の中小企業に貸付したりするお金

令和6年度会計別の決算状況

特別会計	会計名	歳入	歳出	差引
	国民健康保険事業(事業勘定)	10億6417万円	10億4935万円	1482万円
	国民健康保険事業(施設勘定・医科)	278万円	278万円	0円
	国民健康保険事業(施設勘定・歯科)	5853万円	5475万円	378万円
	学校給食事業	6138万円	6114万円	24万円
	介護保険	9億8639万円	9億8095万円	544万円
	後期高齢者医療	1億6822万円	1億6708万円	114万円
	土地取得	3億4558万円	3億4558万円	0円
合 計		23億4147万円	23億1605万円	

企業会計	会計名	収入	支出	差引
	水道事業(収益的収支)	3億8839万円	3億2693万円	6146万円
	水道事業(資本的収支)	5億519万円	6億1440万円	※1 - 1億921万円
	下水道事業(収益的収支)	4億8568万円	4億7895万円	673万円
	下水道事業(資本的収支)	2億4927万円	4億1546万円	※2 - 1億6619万円

※1 不足分は当年度分消費税資本的収支調整額4897万円と、当年度分損益勘定留保資金5574万円および当年度利益剰余金450万円で補填

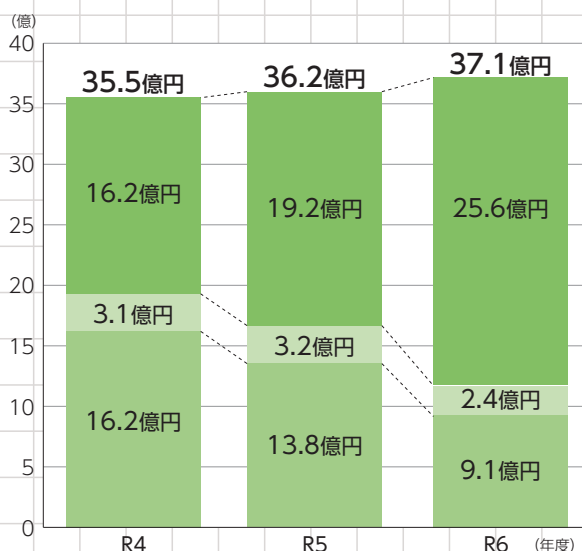
※2 不足分は当年度分消費税資本的収支調整額804万円と、当年度分損益勘定留保資金1億4941万円および当年度利益剰余金874万円で補填

基金

町税の減少などにより財政調整基金の残高は、前年度から4.7億円減少したものの、ふるさと納税寄附金などの増加により将来の施設整備のために、あらかじめ貯めておく特定目的基金の残高は、前年度から6.4億円増加しました。

一般会計における基金残高の推移

■ 特定目的基金 ■ 減債基金 ■ 財政調整基金



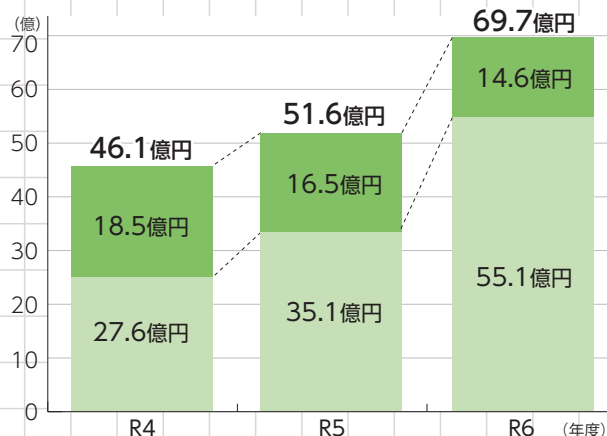
町債

町債残高は前年度から18.1億円増加しました。これについては、財源不足に対処するための臨時財政対策債※の発行額が償還額を下回ったものの、普通建設事業費の増加により実質的な町債の発行額が償還額を上回ったことによるものです。

※もとは地方交付税の一部で、国の財源不足額を国と地方が折半し、地方分について各団体で起債を発行して補填することとされてきました。その償還に要する費用は後年度の地方交付税で措置されることから「交付税の後払い」ともいわれる制度です。

一般会計における町債残高の推移

■ 臨時財政対策債 ■ 実質的な町債



財政指標

町の財政状況が良好であるかどうかを示すものの一つに健全化判断比率があります。以下の4つの比率をまとめて健全化判断比率と呼び、竜王町の比率は、いずれも基準以下になっており、財政状況は良好といえます。

	竜王町		早期健全化基準※1	財政再生基準※2
	5年度	6年度		
①実質赤字比率	-	-	15%	20%
②連結実質赤字比率	-	-	20%	30%
③実質公債費比率	4.5%	3.7%	25%	35%
④将来負担比率	-	29.1%	350%	-

※1 自主的な改善努力による財政健全化が必要な状態

※2 国などの関与による確実な再生が必要な状態

用語解説

- **実質赤字比率・連結実質赤字比率**…一般会計や特別会計などが赤字かどうかを示すもの。黒字のため①②の比率は算定されませんでした。
- **実質公債費比率**…年間収入に借金の返済額が占める割合を示すもの
- **将来負担比率**…今後返済が必要な借金などの総額が、通常見込まれる収入に占める割合を示すもの。令和6年度は、中心核整備事業などに係る地方債発行により、将来負担額が基金などの充当可能財源などを上回ったため算定されました。